

# 健保組合です！

事業所訪問  
「長夷自動車運送株」

の巻

事業所訪問も今回で三回目を迎えました。十月十四日、秋の長すぎる雨が毎日続くなか、茂原市にある長夷自動車運送株式会社へ取材に向かいました。

この日は久々に陽光を見ることができましたが、それも朝方ばかりで午後になるにつれて、またしても天気は下り坂となってしまいました。事務所から約一時間車を走らせると、昨年、発展が著しい茂原市の国道沿いに、元年に新築したばかりのモダンな社屋が目に見え込んできました。

「こんにちは健保組合です」と玄関を入ると、組合の理事をしておられる佐藤部長がにこやかに迎え入れてくださいました。ロビーには手入れの行き届いた緑鮮やかな植物がみかれ、事務室は整然とし、外光をふんだんに取り入れたとても明るい職場で、皆さんは勤務されていました。

二階の社長室におされると、「ようこそ！」と中川社長が笑顔で挨拶してくださいました。

佐藤部長も同席され、懇談が始まりました。まず、冒頭に中川社長が力説されたのは、平素の労働における作業環境の整備についてでした。生産性の向上と、事故防止につながる作業施設の拡張に傾注されてきたとのことでした。

また、事故防止については、公道を職業の場とする運送業者の社会に対する責務を認識し、その責務を全うする事故対策として社員教育をされているそうです。具体的には、新入社員の方には研修期間を設け添乗教育をされ、また、安全対策委員会を定期的に開催し、七カ所に点在する各営業所の目標を掲げるのだそうです。

委員会のなかでは「だろろう運転」をやめ、「かもしれない運転」を励

行するよう徹底されているとのこと。これは常に危険を予測して乗車する心がけを呼びかけているのだそうです。

こうした企業自体の充実と並行して、地域への貢献も多大なものがあります。厚生大臣表彰をはじめとする種々の表彰を受けておられる佐藤部長は、社会保険にもたいへん精通しておられ、年金相談には自ら相談員として受給権者の相談に親身になって応じておられます。災害防止運動も先頭に立って呼びかけを行っておられます。会社の方に「会社経営より地域への貢献のほうがウエイトを占めている」とからかわれるそうですが、こうした姿勢が今日の会社の信頼や親しみを生んだのではないのでしょうか。

社員の皆さんのトップとして企業のシェイプアップを図ってこられた中川社長の、強靱な精神力と体力の

協会が行う検診の会場になっているので、ほとんどの方が受診しているとのこと。組合の検診事業にもこれからもっと積極的に受診するよう周知していただけるとおっしゃってくださいました。

体力増進については、十月二十七日に小運動会を兼ねたソフトボール大会を実施されるそうです。企業の発展と社員の教育・福利厚生、さらには地域社会への貢献と、前進し続ける長夷自動車ですが、ますます発展することを私たちは確信し、取材を終えました。

蛇足ですが、長夷自動車のトラックのカラーを若干変更されたそうです。「スリーエスライン」と称した

三本のラインには、「サービス」「セーフティ」「ストロング」の意味があり、変更後に「車を増やしたのか」とある人に聞かれたというエピソードがあるほど、今まで目立たなかったトラックが一目で判別できるものになったと、お二人とも満足しておられました。

最後に、貴重な時間を取材に割いてくださった中川社長をはじめ、役員の方々に感謝しながら、長夷自動車運送を後にしました。ご協力ありがとうございました。

帰路の車のなかで、スリーエスラインのトラックを何台も見かけたことはいまでもありません。



◀スリーエスラインの新しいトラック



▼中川社長(右)と佐藤部長(左)

裏付けとして健康づくりの話題になり、「中川社長の健康づくりは」との問いかけに、週一回努めてゴルフに行くことと、愛犬の散歩をあげられました。

中川社長は六十一年に就任されてから、様々な改革により会社の苦しい時期を乗り越えてこられました。その力強さには私たちは敬服させられるばかりです。社長のソフトなイメージと、企業人としての厳格かつ確かな視野を持つておられる人柄がうかがえた気がしました。

社員の方々の福利厚生として、健康診断については、母体のトラック